

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 綴文

いろいろ差があるから面白い
いろいろ人がいるから楽しい

No. 524

2019年9月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

ま・く・じ

- あの山の向こうに ㊟ 2
- 『釜山大工』と『ソバの夜』 4
- 菊月重陽の節供 7
- 原亮幸故(1) 権威ある著書 8
- 米山さんへの返信 9
- 『ふるさとの百年ごはん』 10
- 『百年ごはん』によせて 11
- 農業講演「山宣」 12
- ち便利から 15
- 飯館村の新しい村づくり ㊟ 21
- け・い・じ・ばん 26



豪雨に見舞われた各地
の皆さん、大丈夫でしたか。

この見本誌をみて新たに

「読んでみようか」という方は、

2019年3月までの 250円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 振り込んで下さい。

8月30日現在の
会員数 246名

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、

長崎と天草地方の

潜伏キリシタン関連遺産

しずおかのお母さん『ふるさとの百年ごはん』(静岡新聞社) 1200円+税

8月8日、正士さんちへ山仕事に行った折、本書をいただいた。古くから静岡で食されてきた郷土料理を、季節を追って西から東まで網羅しており、その数約110種。

その中には、「静岡ならでは」のものも、他でも作られているものも混じっている。「静岡ならでは」であっても、食枝を変えれば応用可能なものが多い。「百年」とは、母や祖母の世代から食卓を彩ってきたという意味のようだ。

編集は「静岡県アグリサポートの会」。その主力メンバーである岡本伸子さんと今村純子さんが正士さんのところに数冊持参されたとのこと。岡本さんは、静岡県農政の元幹部。今年も手作りの梅ジュースを下さり、暑さの中、その梅ジュースでのどを潤らすことができた。今村さんとは、飯館村でお目にかかった。その中から典型的なものとして久米さんが選んでくれたのが、下に。

山いもとろろごはん(サバだし)

材料 (5人分)

米……………3カップ	自然薯……………300g	水(味噌汁用) ……2カップ
麦……………1/2カップ	卵……………1ヶ	味噌……………大さじ2
水……………4カップ	生サバ……………2切	刻みねぎ……………適宜



④ごはんを小ぶりによそい③をたっぷりかけ、ネギをちらす
 ◇いも汁のだし汁は、サバの味噌汁、カツオ節のすまし汁をはじめ、しいたけ、アユ、ボラなど、県内でも地域によってさまざまです。

- ①米と麦を合わせて洗ってからザルに上げ、水を加えて麦ごはんを炊く。
- ②鍋に水を沸かしサバを入れ、味噌を加え、濃いめのサバだしの味噌汁を作る。
- ③自然薯をきれいにし、すり鉢の中にすりおろし、卵を入れてすり混ぜ②の味噌汁でのぼしてとろろ汁をつくる。

末尾に、取枝に協力した正士さんとお母さんが出てくるよ。



そばの脱穀 →

(次ページに今村さんの石臼りぼり)

おいしい!
 かんたん!
 財布に
 やさしい!
 静岡のお母さんたちが作り続けてきた愛情料理が12カ月のレシピ集になりました。

◇ しずおかのおかあさん『ふるさとの百年ごはん』に寄せて
山や河、豊かな自然の中で暮らす農山漁家の方々は、先輩、姑達から年中行事を中心とした、地域料理を大切に継いできました。それは四季折々自然の神に感謝し五穀豊穡 家内安全を願ってきました。

このことを後世に残したいと、姑達から受けついでレシピ集を各地域毎に作ってきました(昭和50年頃)。だがそれらは手書きで写真もなく粗末なもので、若い衆に捨てられてしまいました。嘆きの声が多くきこえて、元 農業改良・生活改善普及員有志(アグリサポートの会)として自主的に再現しました。

農山漁家の作業は、当時、手作業が多くて忙しいのですが、日常食も結構工夫は料理を作っていました。特に年中行事に合わせて月々の料理を作り、神、仏、山の神と、丁寧につくり、それを共食という形で忙しい中でもゆとりがありました。

いし時代が代って世の中全体が忙しく自分の食するものも作っていられない。食費、食事もお金を出せば簡単に手に入るという、我が家の台所料理が軽く薄らいできています。

各々各地の農山漁家産品は、その地域にしかない「太陽・水・土」で育てられたもので、最高美味好きです。自分の体づくりは自分で考えます。(人まかせでは?)
ということで、折角先輩代々伝わるものを、ようやく形にさせていただけました。

折角お言葉いただきましたのに、あれから急にごたごた連続、〜ねばならないことが続いて、泣きそうにつらいです。

「雑報 雑文」持読させていただいて、すごい!! びっくりです。いいですね、こんなにすらすら編集できて!!

9月のメダカの学校、折角のチャンス、私も普通なら出席当然ですが……。この日、町内の「磐田市見付天神裸祭り」(日暦8月10日)とひらたり重なり、普段の年なら抜けたいのですが、今年は町内の役員(伊勢つかり、一寸抜けがたいので、とてもしも残念です。誠に申し訳ありません。

別紙(略)は、岡本伸子さんが 葵徳新聞にのせるといって今届いたものです。私がメモしたよりよほど上手にまとめていただいています。一寸失礼だけど参考にして!!

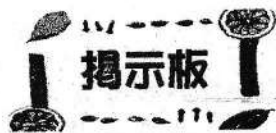
今村純子さん(静岡県アグリサポートの会代表)

(お忙しい中、ありがとうございます。雑報紹介ですが)お許し下さい。9月7日の「メダカの学校」、できることなら見付天神の裸参りの前に行きたい気持です。



岡本伸子さん
本社理事で、女性活動推進委員会副委員長。
現在、静岡県立農林大学校の非常勤講師も務める

- ローカル線にのろう。
- 東北・福島へ行こう。
- なるべく平日に。



山中圭子さん
(ザ・シニアジャパン)



猫の手
安東明子さん
(吾妻橋ゆらし療養院)

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- ① 9月8(日)～10日
 - ② 10月4(日)～16日
 - ③ 11月15(金)～17日
 - ④ 12月13(金)～15日 (交通費自弁)
 - ⑤ 1月20(月)～22日 (会費3千円)
- 常陸・磐田市、鈴木正士さん方。

◆ カヌーで千曲川下り ◆

- 9月11日(水)、「なるべく高原森の家」前泊。
- 12日(木)、飯山線「立花」から「桑名川」まで約30kmを下り、「ロッヂ榎本」泊。
- 只今、水野俊哲、原田、山崎さんと4名。

◆ 式根島で テニスと温泉三昧 ◆

- ① 9月28～30日、只今山崎さんとぼく。
- ② 11月15～17日、ほんたテニスの仲間数名(女性主体)とぼく。

} 参加歓迎

◆ 神津島で遊ぼう ◆

- 10月4～6日、前田正代(まさしろ)さん(「カガリ火」天上のアイランド支店長)のおせわになる予定。只今、溝口久さんと二人。参加歓迎。

◆ 銘木館見学会 ◆

戦後まもなく、長者番付のトップを続けた長谷川萬治氏(故人)が、30年に亘って収集された銘木です。(現在は、日本住宅・木材技術センターに譲られている) 針・広葉樹合わせて470種。最大のものは、常陸・春日町から伐り出された「長蔵スギ」で、長さ50m、樹齢500年。あまりの重さにコンクリートの床が沈下、まわりをカッターで切ったほどです。

ぼくは二度見学していますが、二度と得難い銘木揃い、必見の価値があります。佐藤貞敏さんの住まいに近いので、体調がよければご一緒できると期待しています。また、横須賀和江さんにも見たい。たださたく、ご都合を伺った上で見学の予約をします。平日のみ。もより駅は、地下鉄東西線「南砂町」駅。詳しくは後日。

- ① 三浦ハイク「海水浴」、山仕事などは次号へ。
- ② ぼくは、9月6～13日、家を空けます。

- 9/6 松戸でテニス
- 7 めだかの学校
- 17 関東連協(テニス休み)
- 20 上総里山会
- 10/8 ラブオールテニス
- 18 上総里山会
- 19 「カガリ火」フェスタ
- 27～28 関東連協研修会